

「100万本のコスモスガーデン」活性化

取組に至る背景・事業の目的

阿智村の治部坂高原スキー場グレンデの夏場活用を通じて、地域の活性につながる目的で平成21年まで、治部坂観光（株）が実施してきた「100万本のコスモスガーデン」整備は21年夏にリフト運行を開始し、2万人余の来場者を記録するなど、一定の実績を上げた。これを契機に平成22年度地域発元気づくり支援金により、旧浪合村にあたる治部坂高原近隣企業、一般募集のボランティアが整備に携わり、阿智の玄関口になる観光拠点再生をめざして、栽培面積拡大など、魅力あるコスモスガーデンづくりを行った。23年度は、同所の知名度、誘客増を高めるため、中京方面などを中心に魅力をアピールし、地域活性化をおこなった。

事業内容

治部坂高原への誘客強化のため、夏場のスキー場グレンデに、コスモスなどの植栽を行った。植栽作業については、一般からの公募によりボランティアを募り、中京、浜松方面からの参加も受け実施した。



【植栽作業】

事業効果

コスモスガーデン整備や栽培面積拡大によってコスモス・ユリ等の花と、地元で自生している花（オミナエシ・マツムシソウ等）を増やすことにより、来場者には高く評価され、夏の治部坂高原の魅力づくりとして、冷涼な気候をいかした花の名所としてPRができた。

また、栽培面積拡大作業では、地元をはじめ、一般から募ったボランティア参加が年々増加し、阿智村の玄関口にあたる拠点施設として夏の治部坂高原を広くアピールでき、認知度、集客につながった。



【コスモスガーデン】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

苦労した点は、植物の栽培は、自然環境が大きく影響する。春先の天候により花の生育が変わり、また台風の影響により開花した花が倒れてしまうなど、自然環境の変化により状況が変わる。

工夫した点は、花の種類を増やすことにより、多くの来場者に楽しんでもらえる事ができ、また、地元で自生している花を復活させる事ができた。開花の時期を変えるため、種蒔きの時期を変えたり、肥料、雑草対策など毎年方法を変えて対応した。

阿智村の玄関口として治部坂高原が自然豊かで、花の名所として多くの来場者を迎え入れる環境とPRを今後も継続して行いたい。

【選定のポイント】

夏でも冷涼な気候とスキー場のグレンデを活用した新たな観光資源を整備している点はモデル的である。また、中京、浜松方面へ効果的にPRを行っており今後の観光客の増加も期待できる。

団体名	治部坂高原を美しくする会 (阿智村)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0265-47-1111	事業費	1,598,305円
		支援金額	1,233,000円